

呼吸器外科専門医取得コースカリキュラム

1 研修目的・研修目標

呼吸器外科一般に関する知識を深め、臨床を研鑽する。

3年間で外科専門医および呼吸器外科専門医修得が可能な医療レベルに到達することを目標とする。

2 当科の診療内容

当科で取扱う疾患は

- ・肺の悪性腫瘍（原発性肺癌・転移性肺癌など）
- ・縦隔・胸壁の腫瘍（縦隔腫瘍・胸膜中皮腫・胸壁腫瘍など）
- ・炎症性疾患（耐性結核・非定型抗酸菌症・アスペルギルス症など）
- ・膿胸
- ・自然気胸・嚢胞性肺疾患

などで呼吸器外科一般多岐にわたっている。胸腔鏡下手術や低侵襲外科治療に力を入れており、平成28年度の全手術のうち94.7%が胸腔鏡下手術である。また心臓血管外科と協力しての拡大手術が可能なことも大きな特徴である。

3 手術件数

< 当科における平成28年度手術件数 >

・全体	302例
（内訳）	
・肺悪性腫瘍手術	100例
・びまん性肺疾患	86例
・気胸・肺嚢胞性疾患	54例
・膿胸	20例
・炎症性肺疾患	12例
・縦隔腫瘍手術	12例
・その他	18例
・胸腔鏡下手術	286例
・開胸手術	7例
・その他	9例

4 専門医受験資格取得要件(現行の制度)

日本外科学会外科専門医

- ・修練開始後満4年以上経た段階 予備試験（筆記試験）
- ・予備試験に合格後，修練開始後満5年以上経て，規定の修練をすべて経験した段階 認定試験（面接試験）合格後，外科専門医として認定

呼吸器外科会専門医（呼吸器外科専門医合同委員会）

- ・外科専門医あるいは日本外科学会認定医であること
- ・卒後修練期間7年以上を有すること
- ・認定修練施設において3年以上の修練期間を有すること
- ・修練期間中に別に定める手術経験を有すること
- ・呼吸器外科学に関する別に定める一定の業績（学会発表，論文発表）および研修実績（学会参加）を有すること
- ・日本呼吸器外科学会及び日本胸部外科学会の会員であり，3年以上の会員歴を有すること

5 カリキュラムの概要

以下の呼吸器外科専門医合同委員会のカリキュラムにそった一般的目標を取得する

呼吸器外科専門医としての臨床判断能力と問題解決能力の取得

1. 解剖，生理，病理病態等に関する知識の取得
2. 基礎的手技・検査・診断能力の取得
3. 周術期管理能力の取得

呼吸器外科手術を適切に実施出来る

1. 経験手術数
 - 術者として50例以上
 - 助手として100例以上
2. 経験手術の分類

A群

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1) 縦隔リンパ節郭清を伴う肺葉切除又は肺摘除術 | 最低必要数
25例以上* |
| 2) 単純肺葉切除術（肺摘除術）又は縦隔腫瘍摘出術
又は胸腺摘除術 | 10例以上* |
| 3) 自然気胸手術または肺嚢胞切除術 | 5例以上* |
| 4) 肺部分切除術・腫瘍核出術 | 5例以上* |

B群

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1) 気管・気管支形成術を伴う肺切除術 | B1～B6の中から5例*以上 |
| 2) 骨性胸郭,横隔膜,心嚢,大血管切除を伴う手術 | 但し，B1～B5のものを2項目3例以上含む |
| 3) 胸膜肺摘除術 | |

- 4) 肺区域切除術
- 5) 膿胸に対する手術（開窓術・胸郭成形術を含む）
- 6) その他の呼吸器外科手術

*印は胸腔鏡下手術を含んでよい

医の倫理と医療安全に基づいた適切な態度と習慣

1. 指導医とともに協調によるグループ診療を実践することができる
2. 患者とその関係者に対して適切なインフォームドコンセントを得ることができる
3. 医療安全などに関する研修を受けている（2回以上）

EBMに基づく生涯学習の方略の習得

1. 呼吸器外科関連の学術集会に出席し研究発表や症例報告を行う
2. 症例報告や研究論文の執筆能力を養う

6 年度別到達目標（3年間で呼吸器外科専門医の臨床経験数が可能）

< 1年目到達目標 >

A群

・肺葉切除術		助手	20例
・縦隔腫瘍切除術		助手	10例
・自然気胸手術	術者 10例	助手	10例
・肺部分切除術	術者 10例	助手	10例

B群

・肺区域切除術		助手	5例
・開窓術		助手	1例

< 2年目到達目標 >

A群

・肺葉切除術	術者 5例	助手	20例
・縦隔腫瘍切除術	術者 5例	助手	5例
・自然気胸手術	術者 20例	助手	10例
・肺部分切除術	術者 20例	助手	10例

B群

・肺区域切除術		助手	5例
・気管・気管支形成術		助手	2例

- ・開窓術 術者 1例
- ・胸膜生検術 術者 5例

< 3年目到達目標 >

A群

- ・肺葉切除術 術者 10例 助手 20例
- ・縦隔腫瘍切除術 術者 5例 助手 5例
- ・自然気胸手術 術者 10例 助手 10例
- ・肺部分切除術 術者 20例 助手 10例

B群

- ・開窓術 術者 1例
- ・肺区域切除術 術者 2例 助手 5例
- ・気管・気管支形成術 術者 1例 助手 1例
- ・胸壁合併切除術 術者 1例 助手 1例

7 認定研修施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設

その他日本呼吸器内視鏡学会，日本がん治療認定医機構など非外科系組織

8 専門的指導，研修，学習など

日本外科学会指導医・専門医，日本呼吸器外科学会指導医・専門医，気管支鏡指導医による直接指導

他科との合同カンファレンス

毎週のカンファレンスとして 呼吸器内科・放射線科医合同カンファレンス1回，心臓血管外科・麻酔科術前合同カンファレンス，入院患者カンファレンス1回がある

月2回，呼吸器内科・放射線科・病理医との合同カンファレンスがある

その他，院内C P Cや各種講習会がある

研修として学会参加はすべて可能である

- ・日本外科学会総会
- ・日本呼吸器外科学会総会及び呼吸器外科胸腔鏡セミナー
- ・日本胸部外科学会総会及び日本胸部外科学会卒後教育セミナー
- ・その他の学会主催のセミナー
- ・関東・神奈川県下の地方会全般など
- ・神奈川県下の研究会に多く参加しており他院との交流や広い知識を得る場も多い

学会発表および論文作成